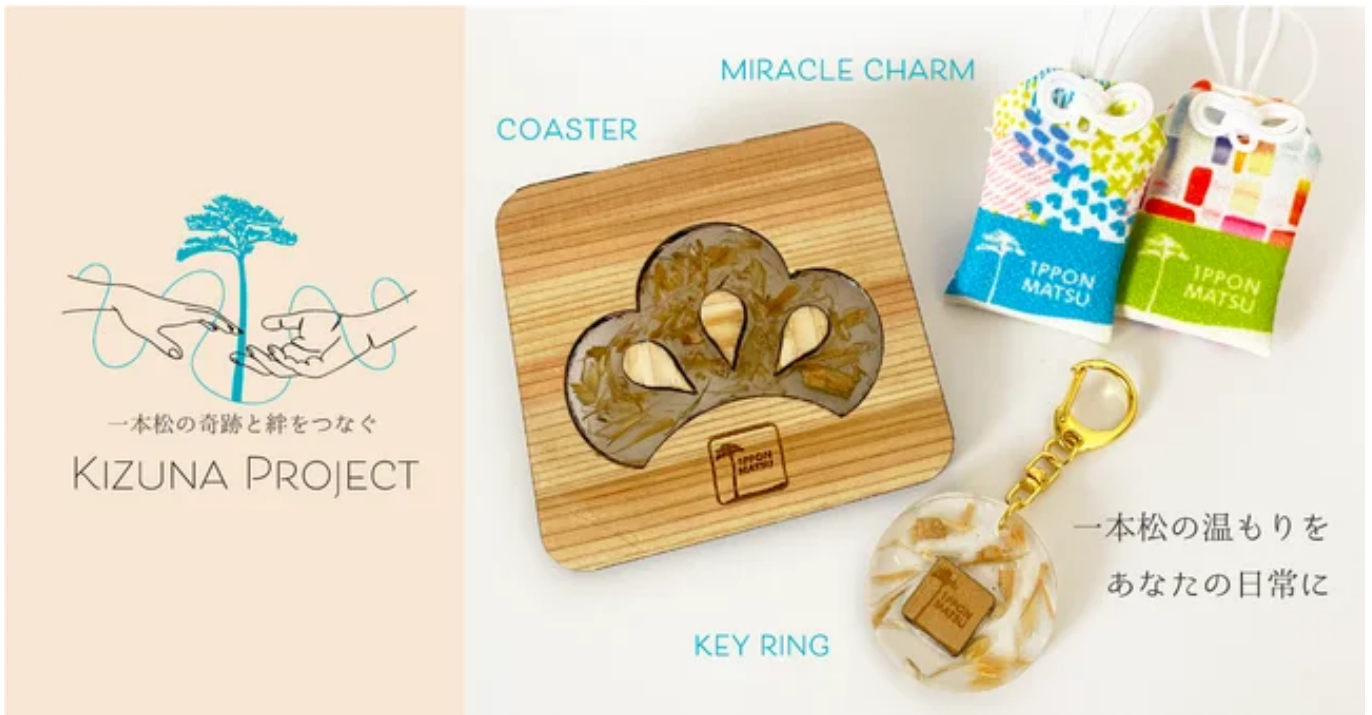


# 復興のシンボルを次世代へ「奇跡の一本松」おがくず活用で商品開発

東日本大震災の大津波に耐えた陸前高田市の一本松の奇跡をつなぐ



一般社団法人 日本福祉協議機構（以下、JWCO）は、東日本大震災をきっかけに岩手県陸前高田市と友好都市協定を結ぶ「名古屋市」の企業・学生・団体と協働し【Kizuna Project（絆プロジェクト）】を発足。陸前高田市の中学生交流団OBOG『teamS』と“奇跡の一本松”のおがくずを資源活用した製品を共同開発。3月23日(土)東山動植物園で開催される「絆の日」イベントにて限定販売を行います。



限定販売される商品ラインナップ。障がい者就労支援にて製造。あたたかみの残るハンドメイド商品。

## 「奇跡のバトン」絆をつなぐプロジェクト

2011年3月11日 東日本大震災、大津波が襲った陸前高田市で奇跡的に残った一本の松、大津波に耐えたその姿から“奇跡の一本松”と呼ばれ「希望の象徴」となりました。その後海水のダメージで枯死してしまいましたが、復興の象徴でもあるこの一本松への地域の方の想いを残すよう、枯れた後の「おがくず」を資源として、奇跡の力を次世代に残し紡いでいくための商品を開発。



パートナーシップで課題解決。サステナブルな商品が完成しました！

## Produce by 「teamS」

陸前高田市での交流に参加した経験を生かし、現在も中学生交流の企画や引率に携わって  
い理、両市の友好都市協定による中学生絆交流10年の節目にOBOGで発足した「teamS」  
さんの「今後、防災減災についてもっと発信していく存在でありたい」「“奇跡の一本  
松”のエネルギーを多くの人に届けたい」という思いを活かし商品開発に参加。

## WE HANDCRAFT 「私たちが手作りしました」

"奇跡の一本松"保存のために切り出した「おがくず」を陸前高田市から譲り受けたJWCO  
では昨年9月よりTeamSとのコラボで商品開発を進行。商品製造の過程で、様々な人の手  
をつなぐようにパートナーシップの形でコラボレーションを実現し、SDGsの観点からも  
価値のある商品へと変化させました。

製造には

- 障がい者就労継続支援B型事業所「アペロヒューレ」
  - 障がい者生活介護事業所「アペロスコーレ」
  - 特別支援学校：「名古屋市守山養護学校」「天白養護学校」
- と連携し、手作りで温かみのある製品となりました。

## PRODUCT 「商品ラインナップ」



「松」をデザインした愛知県産間伐材使用のコースター



「奇跡のパワーを持ち歩く」がコンセプトのキーホルダー



日本の伝統「御守り」と障がい者アートコラボデザイン。

「大切な人へ奇跡の贈り物」ギフトセット

### 3月23日「絆の日」イベントで限定販売！

"奇跡の一本松"後継樹を東山動植物園へ植樹したことを契機として定めた「絆の日」。名古屋市東山動植物園にて記念交流イベントにて限定販売を行います。

- 3月23日(土)10:30～19:30
- 東山動植物園 きずなの広場横「植物会館」
- [https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/cmsfiles/contents/0000171/171294/R05\\_kizuna\\_chirashi.pdf](https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/cmsfiles/contents/0000171/171294/R05_kizuna_chirashi.pdf)

イベント当日は、商品開発向上を目的としたモニタリングアンケート調査を実施します。LINEアンケートにお答えいただいた方、限定200名様に協賛企業より「GRANYのお試しグラノーラ」 (<https://grany-shop.com/online-shop>)をプレゼントいたします。皆様のご来場とご協力、心よりお待ちしております。

JWCO 日本福祉協議機構のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/72465](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/72465)

【本件に関するお問合せ先】

JWCO 一般社団法人 日本福祉協議機構

広報担当：石田 智子

電話：052-715-9666（本部） メールアドレス：info@n-fukushi.jp